

青森県で当社初のニューノーマルな暮らし体験施設 『SNOWMODEL PARK 青森』オープン

- 体感型ショールームに続く新たな「暮らし体験施設」で、バーチャル×リアル融合を加速
- ニューノーマルな暮らしのリアル体験プログラムで生活ベネフィットを実感

2022年1月28日

セキスイハイム東北株式会社

セキスイハイム東北株式会社（本社：仙台市宮城野区、代表取締役社長：岡田雅一、以下「当社」）は、2022年2月19日（土）、『SNOWMODEL PARK（スノーモデルパーク）青森』をオープンします。

セキスイハイムグループは住宅事業開始から50年が経過し、社会課題解決への貢献を拡大する記念プロジェクトに取り組んでいます。その一環として、2021年3月より全国展開を進める「GREENMODEL PARK」をベースに、積雪エリアに対応した『SNOWMODEL PARK 青森』を、新たな「暮らし体験施設」として、青森県内で初めてオープンいたします。

地球環境にやさしく新しい生活様式にも対応した暮らし方の提案力を強化することで、社会課題解決に貢献する住宅の普及を加速していきます。

『SNOWMODEL PARK 青森』の特長

1. 体感型ショールームに続く新たな「暮らし体験施設」で、バーチャル×リアル融合を加速

『SNOWMODEL PARK 青森』は、ニューノーマル時代にふさわしい暮らし方（地球環境にやさしい暮らし、新しい生活様式に対応した暮らし、自然災害にも安心できる暮らし）を、約66坪のモデルハウスでリアルに体験できる新しいタイプの「暮らし体験施設」です。バーチャル映像などで家づくりの知識を習得する既存の体感型ショールーム「ハイムギャラリーパーク盛岡」との相乗効果により、建築知識などのハードと生活ベネフィットのソフトの両面で安心感・納得感のある家づくりを実現します。

2. ニューノーマルな暮らしのリアル体験プログラムで生活ベネフィットを実感

(1)「環境貢献」：地球環境にやさしい暮らし

大容量の太陽光発電システム（以下PV）と大容量蓄電池により自然エネルギーを可能な限り活用した一日の暮らしを映像技術で見える化。また、スマートフォン用WEBアプリ（グリーンクエスト）で家じゅうのエコなポイントをクイズ形式で楽しく学べます。

(2)「新生活様式」：新しい生活様式に対応した暮らし

玄関手洗いなど有害物質の持ち込みを抑制する設備を採用した間取りや在宅ワークスペースに加え、先進のIoT設備などを実際に使って、快適で便利な新しい暮らしを体験できます。

(3)「レジリエンス」：自然災害にも安心できる暮らし

自然災害などによる停電状況を想定し、大容量PVや大容量蓄電池から電力供給を受けた生活を再現することにより、在宅避難の疑似体験が可能です。

■施設概要

- ◎オープン：2022年2月19日（土）
- ◎住所：青森県青森市浜田2丁目7-1
- ◎定休日：毎週火・水曜日（他、当社の定休日に準じます。）
- ◎開館時間：10:00～17:00 ※完全予約制です。

『SNOWMODEL PARK 青森』展開の背景

当社は、環境問題をはじめとした社会課題の解決や強固な経営基盤の構築を事業の成長力として位置づけ「顧客価値」と「事業価値」の両立による ESG 経営を推進しています。現在、深刻化する地球温暖化へ対応するためのカーボンニュートラルの実現や、頻発・激甚化する自然災害への対応が求められています。また、近年はニューノーマルな暮らしが定着し、在宅時の快適性や健康への配慮が重要になっています。

このような中、エネルギー自給自足型住宅^{*1}のハイスペックモデル「スマートパワーステーション FR GREENMODEL」(以下「グリーンモデル」)や、新しい生活様式への対応力を高めた住まい「レジリエンス 100 STAY&WORK モデル」などを展開しています。

これらの商品で提案しているニューノーマル時代にふさわしい新しい暮らし方(地球環境にやさしい暮らし、新しい生活様式に対応した暮らし、自然災害にも対応できるレジリエントな暮らし)は、住宅購入検討者にとって見える化しにくく、その生活ベネフィットを実感することが難しいという側面があります。セキスイハイム誕生 50 周年を機に、スマートハウスの一層の訴求力向上を推進しており、リアルな生活シーンを体験できる『SNOWMODEL PARK 青森』により、新しい暮らし方をわかりやすい形で提案します。SDGs の実現も目指しながら、社会課題解決に貢献する住宅の普及を加速していきます。



■ 『SNOWMODEL PARK 青森』で目指す SDGs

『SNOWMODEL PARK 青森』の特長

1. 体感型ショールームに続く新たな「暮らし体験施設」で、バーチャル×リアルの融合を加速

当社では、お客様の家づくりにおける判断基準形成のサポートを目的に、建築知識や住性能が VR などのバーチャル映像技術を用いて学べる体感型ショールーム「ハイムギャラリーパーク」を展開しており、多くのお客様に家づくりの考え方を分かりやすく発信してきました。

今回の『SNOWMODEL PARK 青森』は、この体感型ショールームに続く新たな「暮らし体験施設」の展開です。現在、社会が直面しているニューノーマル時代にふさわしい新しい暮らし方(地球環境にやさしい暮らし、新しい生活様式に対応した暮らし、自然災害にも安心できる暮らし)を、約 66 坪のモデルハウスでリアルに体験できます。先行して展開している「GREENMODEL PARK」をベースに、積雪エリアに対応した施設です。

隣県に位置する「ハイムギャラリーパーク盛岡」と『SNOWMODEL PARK 青森』を併用することで、バーチャルとリアルの相乗効果が期待できます。建築知識や住性能などのハードと実際の生活ベネフィットなどのソフトの両面を、お客様により一層分かりやすく発信し、マイホームづくりに役立てていただくことを目指します。

2. ニューノーマルな暮らしのリアル体験プログラムで生活ベネフィットを実感

『SNOWMODEL PARK 青森』には、5つの体験ゾーン(①先進の暮らし体験ゾーン、②グリーンな暮らし体験ゾーン、③便利でエコな暮らし体験ゾーン、④新生活体験ゾーン、⑤暮らし安心体験ゾーン)を設け、「環境貢献」、「新生活様式」、「レジリエンス」の3つの暮らし方を体験いただけます。実際の生活を想定した暮らし体験プログラムにより、新しい暮らし方のベネフィットを実感していただけます。

(1)「環境貢献」:地球環境にやさしい暮らし

大容量 PV と大容量蓄電池により、可能な限り再生可能エネルギーを活用した自給自足型^{*1}の一日の暮らしについて、様々な映像技術やスマートフォン用 WEB アプリを用いて体験していただけます。

① SNOWMODEL PARK の暮らし映像

地球環境の大切さや可能な限り自宅で発電した電気を使うグリーンな暮らしについて、プロジェクトマップなどにより見える化し、分かりやすくナビゲートします。

② WEB アプリ×実体験「グリーンクエスト」

スマートフォンを片手に家じゅうをご覧いただきながら、新しい暮らしに隠れているエコで便利な住まいの工夫を、クイズ形式で楽しく学べます。



■「グリーンクエスト」でエコクイズに挑戦

(2) 「新生活様式」:新しい生活様式に対応した暮らし

玄関手洗いなど有害物質の持ち込みを抑制する設備を採用した間取りや、先進の IoT 設備を用いた快適で便利な暮らしのアイデアを各所に採用し、実際の生活シーンを想定した体験を通して、新しい暮らしの快適性、利便性をわかりやすくご理解いただけます。

①有害物質の持ち込み抑制プラン体験(玄関での手洗い、そともの収納、在宅ワーク)

リビング等の居室に入る前に、玄関ホール内で手洗いやコート収納などを行える間取りとし、ウイルスや花粉を出来る限り居室内に持ち込まない暮らしをイメージしていただけます。在宅ワークスペースにはカウンターデスクや本棚などを設え、オンライン会議も想定した空間設計や快適さを実際に体験できます。

また、第1種換気システム「エアファクトリー」と当社オリジナルの温水式床下ふく射暖房システム「新ウォームファクトリーN」による、適正な換気と快適な温熱環境も体感できます。



■在宅ワーク対応プランの体験(イメージ)

②IoT設備の利便性体験(非対面での配達物の受け取り)

HEMS^{※2}と連携した宅配BOXにより、スマートフォンで配達状況の確認^{※3}が可能となります。宅配のデモ体験により、配達物の受取確認や再配達依頼の手間解消などの利便性が実感できます。



■HEMSと連携した宅配BOXの荷受け体験(イメージ)

(3) 「レジリエンス」:自然災害にも安心できる暮らし

当施設のベースとなっている「グリーンモデル」で採用している12kWh^{※4}の大容量蓄電池は、一般的な蓄電池の約2倍の容量^{※5}に加え、「家まるごと仕様^{※6}」を採用しているため、停電時に家じゅうの電源コンセントから蓄電池の電力供給を受けることができます^{※7}。

『SNOWMODEL PARK 青森』では、平常時では実感が難しい停電時の生活を体験いただくため、実際の停電状況を再現し、在宅避難を疑似体験していただくことが可能です。大容量のPVや蓄電池を搭載した住宅は、停電時にどれだけの電気を使用できるのか実際に体験いただけます。



■大容量蓄電池(12kWh^{※4})による停電の暮らし体験(イメージ)

『SNOWMODEL PARK 青森』の施設概要

■外観(イメージ)



■建物情報

◎延床面積：218.79 m²

・1階床面積：118.43 m²

・2階床面積：100.36 m²

◎主な設備

・PV (6.96kW)

・蓄電池 (12kWh^{※4})

・HEMS (スマートハイムナビ)

・エアファクトリー
(第1種換気システム)

・新ウォームファクトリーN

・エコキュート

■プラン・ゾーニング



- ※1 すべての電力を賄えるわけではありません。電力会社から電力を購入する必要があります。
- ※2 コンサルティング型ホーム・エネルギー・マネジメント・システム「スマートハイムナビ」。
 スマートハイムナビは Panasonic HEMS との共同開発品です。
- ※3 対応可能なスマートフォンのOSは、Android6~11、iOS13~14（2021年11月24日現在）
- ※4 蓄電池容量12kWhはカタログ値であり、実際に使える容量とは異なります。
- ※5 経済産業省 資源エネルギー庁・一般社団法人 環境共創イニシアチブ「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス 支援事業 調査発表会2020」を基に、最も出荷量が多い蓄電容量から算出。充電残量100%かつ蓄電池の初期容量の目安になります。
- ※6 く「家まるごと仕様」注意点
 - ・生命に関わる機器（医療機器等）は別途電源の確保が必要です。
 - ・分電盤の容量が60A（ニチコン製12kWh（屋内設置）の場合は75A）を超える場合やエレベーター採用の場合には、別途分電盤が追加が必要となり、当該追加分は「家まるごと仕様」の対象外となります。
 - ・消費電力が大きい機器や起動時の電力が大きい機器を使用した場合は、蓄電池がシステム停止となる場合があります。また、センサーや調光機能を搭載した照明や家電の機種により動作しない場合があります。
- ※7 PVの発電量や蓄電池の充電残量が使用量や出力を上回る場合のみです。蓄電池の残量が無い場合、電力は使用できません。天候、季節、使用量、同時使用量（出力）によってはご利用できない機器が発生します。

<セキスイハイム東北グループのお客様向け情報発信拠点について>

分類	名称	所在地	対象のお客様	開設時期
体感型ショールーム	ハイムギャラリーパーク仙台	宮城県宮城郡	検討初期段階	2021年3月
	ハイムギャラリーパーク山形	山形県山形市	検討初期段階	2021年4月
	ハイムギャラリーパーク盛岡	岩手県盛岡市	検討初期段階	2021年9月
	ハイムギャラリーパーク福島	福島県郡山市	検討初期段階	2021年11月
ライフスタイル ショールーム	暮らしミュージアム利府	宮城県宮城郡	検討初期段階	2021年4月
ニューノーマル 暮らし体験施設	SNOWMODEL PARK 鶴岡	山形県鶴岡市	検討中期段階	2021年11月
	GREENMODEL PARK 多賀城山王Ⅱ	宮城県多賀城市	検討中期段階	2022年1月
	GREENMODEL PARK 相馬小野	福島県相馬市	検討中期段階	2022年1月
	GREENMODEL PARK 小名浜林城	福島県いわき市	検討中期段階	2022年1月
	SNOWMODEL PARK 青森	青森県青森市	検討中期段階	2022年2月
宿泊体感棟	快適宿泊体感棟 青森	青森県青森市	検討中期段階	2021年12月
	快適宿泊体感棟 秋田	秋田県秋田市	検討中期段階	2022年2月
住まいの価値向上 リフォームのための ショールーム	セキスイファミエスギャラリー仙台	宮城県仙台市	リフォーム検討	2019年11月

[セキスイハイム東北株式会社 会社概要]

- ◎設 立：1983年9月（創業1973年）
- ◎資 本 金：3億円（積水化学工業株式会社100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 岡田雅一
- ◎売 上 高：359億円（2021年3月決算）
- ◎従 業 員 数：536名（単体）（2021年4月現在）
- ◎事 業 内 容：1.ユニット工法住宅の販売・設計・施工管理
2.その他 集合住宅・在来工法等建築工事全般
3.宅地分譲等不動産取引
- ◎事 業 所：本社（仙台市）、仙台支店、仙台北支店、福島支店、福島北支店、北東北支社、山形支店
- ◎展 示 場：宮城エリア12拠点、福島エリア11拠点、北東北エリア14拠点、山形エリア4拠点
（2021年10月現在）
- ◎グループ会社：セキスイファミエス東北株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ14階

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

■セキスイハイム東北株式会社

- 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ14階
- ・本社 営業推進部 営業企画課 平岩 Tel. 022-369-3816
- ・北東北支社 青森営業所 多田 Tel. 019-632-1020

■お問い合わせ時間:10:00~17:00

■定休日:毎週火曜日・水曜日